



桜井小学校だより



第21号

令和4年12月23日

文責：校長 成清信彦

終業式にて 終業式でお話したことです

12月の生活目標は「自分の周りの人やものに感謝の気持ちを伝えよう」でした。

「感謝の気持ち」言い換えるならば「ありがとうの気持ち」です。

皆さんは感謝の気持ちを伝えることができましたか？ どうかと思う人はこれからでも遅くありません。たくさんの人や物に感謝の気持ちを伝えてくださいね。

昨日は、2年生から5年生までの皆さんで、机やいすのお引越しをしましたね。新しい校舎の感じはいかがでしたか。3学期が楽しみです。

さて、現在、2,3,4,5年生となかよし3組さんが使っている校舎、理科室・音楽室・家庭科室がある校舎は、1月になると取り壊し(リフォームのための)が始まります。学校の歴史を調べてみると今から42年前、昭和55年(1980年)に新校舎として完成し、これまで桜井小のたくさんの子どもたちを見守ってきました。思い出の校舎にありがとうの気持ちでお別れをしたいと思います。



もういくつ寝るとお正月という時期になりました。

新しい年を迎える大切な時期です。今年1年を振り返り、どんなことがあったか思いだしながら、お世話になった皆さんにしっかりと「感謝(ありがとうの気持ち)」をもって過ごしてください

本物にふれる ～邦楽演奏会

日本三曲協会の皆様をお招きして、「本物にふれる」芸術鑑賞会を行いました。

演奏会では「さくらさくら」に始まり琴、三味線、尺八の演奏家の皆さんから楽器の説明をしていただいたり、それぞれの独特な音色を聞かせていただいたりしました。

琴で桜井小学校の校歌を演奏もしていただきました。また、みんなが知っている「ビリーブ」を合奏していただき、みんな楽しく歌うことができました。



最後は「松竹梅」という縁起の良いそして、迫力のある曲を聞かせていただきました。

1時間があっという間に感じられた素晴らしい演奏会でした。合計8人の演奏家さんと、2人のスタッフの方、音響技師の方にも来ていただき、桜井小の体育館がコンサートホールになったひと時でした。

本年も誠にありがとうございました。皆様のご協力のおかげで、子どもたちも楽しく学習をすることができました。皆様どうぞよいお年をお迎えください。